

15. 長野県松本保健福祉事務所が行う

スギ・ヒノキ花粉飛散情報提供の有用性についての検討

下平奈緒子、山口蓮、宮島勲、西村ふさ子、塚田昌大（長野県松本保健福祉事務所）

キーワード：スギ・ヒノキ花粉、ダーラム法、はなこさん

要旨：当所では平成8年からスギ・ヒノキ花粉飛散数調査を実施し、情報提供を行ってきた。近年では花粉の自動計測によりリアルタイムで飛散情報を提供する機関もあるが、ダーラム法でスギ・ヒノキ花粉を的確に測定し情報提供する当所のデータは住民の花粉症対策に有用であると考えた。

A. 目的

長野県松本保健福祉事務所では、地域住民のスギ・ヒノキ花粉症対策の一助として平成8年からスギ・ヒノキ花粉飛散数調査を行い、得られたデータを週に一回ホームページで公表してきた。本格的な飛散シーズンの指標となるスギ花粉の飛散開始が確認された際にはホームページの更新とともにプレスリリースを行い、報道機関や地域の医師会・薬剤師会等にはいち早く情報が伝わるようメールやファックスでも情報を送信している。

花粉飛散情報を発する機関は全国的に多く、松本地区でも平成27年に環境省が松本合同庁舎屋上に自動花粉計測装置「はなこさん」¹⁾を設置し、リアルタイムで花粉飛散情報の提供を行っている。

今回、松本地区における花粉症対策に対する、当所が行う情報提供の有用性について検討したので報告する。

B. 方法

① 松本保健福祉事務所ホームページ内「松本地区の花粉飛散情報」ページ（以下、当所HPという）の、平成25年1月から平成30年5月までの閲覧数の推移を月毎に比較した。

② 当所が行ったダーラム法での観測データと「はなこさん」による観測データを比較した。調査期間は平成30年2月1日から5月25日までとし、「はなこさん」が提供する1時間ごとの観測数を当所の観測方法に合わせ9時から翌日8時までの1日分としてまとめた。ダーラム法と「はなこさん」では観測方法や観測数の単位が異なるため、日毎の観測数の推移のみを比較した。

C. 結果

① 当所HP閲覧数の推移（図1）

毎年、当所が飛散情報を提供する2月から5月までは閲覧数が多かった。特に、花粉飛散数が多い3月、4月は1,000件を超える閲覧があった。また、閲覧数

は年々増加傾向にあった。

② 「はなこさん」との観測数比較（図2）

スギ・ヒノキ花粉が多く飛散した3月から4月上旬までは、当所と「はなこさん」の観測数は同様の推移を示した。しかし、スギ花粉の飛散開始前は「はなこさん」は当所より高い値で推移していた。また、スギ・ヒノキ以外の花粉が飛散する4月中旬以降も同様であった。

なお、ダーラム法と「はなこさん」の観測方法の違いと、それぞれのメリット、デメリットを表1にまとめた。

D. 考察

当所の花粉飛散情報の閲覧数は増加傾向にあるが、これはスギ花粉飛散開始のプレスリリースにより当所の調査が報道に取り上げられる機会が増えた結果、当所の情報提供の認知度が高まっていることが示唆される。また、閲覧数はスギ・ヒノキ花粉の飛散開始前から増加しており、飛散開始への関心が高いことが伺えた。当所が飛散開始日の情報を提供することにより住民が飛散開始前から予防を始めるなど、早期からの対策を促すうえで有用であると考えられた。

ダーラム法と「はなこさん」では観測方法が異なるが、両者のデータの推移を比較したところ、スギ・ヒノキ花粉が多く飛散する時期の推移にはあまり差が無いことが分かった。しかし、スギ・ヒノキ花粉の飛散開始前や飛散終了後では大きく異なっており、スギ・ヒノキ花粉症対策の啓発や予防、治療の指標としてはより正確に飛散期間を示すことのできるダーラム法によるデータが有用であると考えられた。

E. まとめ

花粉症対策の啓発には、地域の花粉飛散状況の把握と情報発信が重要である。

当所は全国に24か所ある環境省の花粉観測地点のひとつに選定されており²⁾、長野県内の花粉飛散情報発信の拠点になっている。今後も地域住民の花粉症対

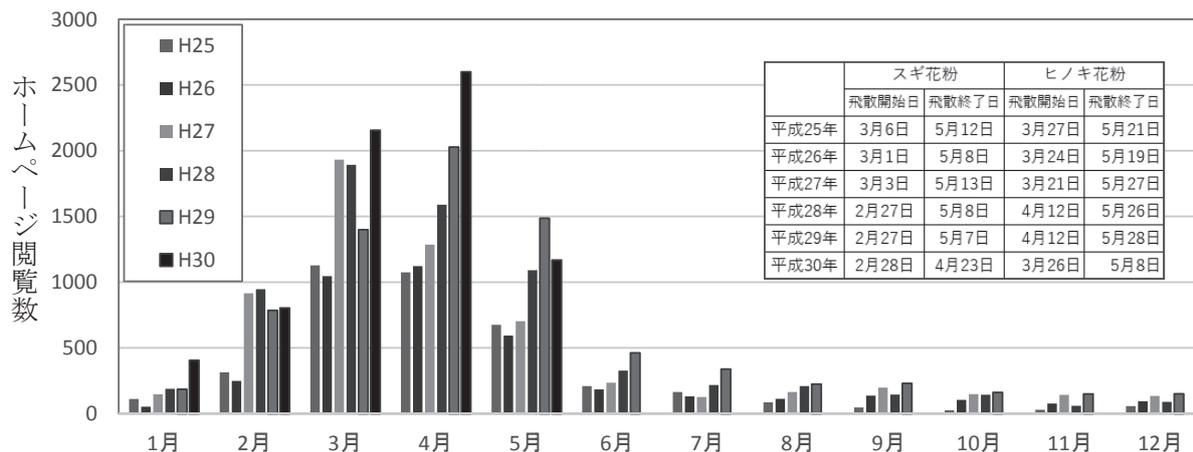


図1 当所ホームページの月別閲覧数

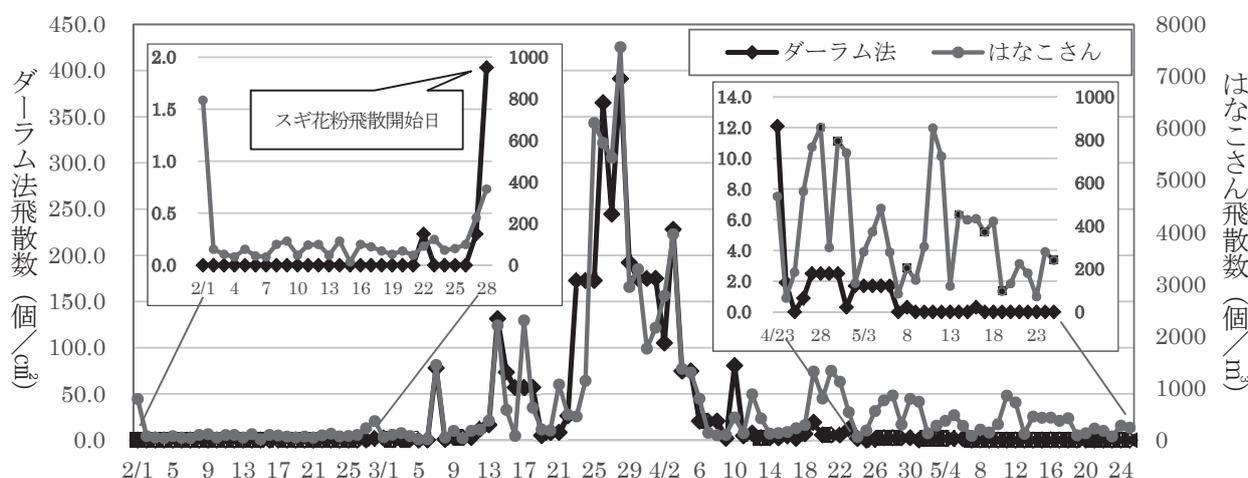


図2 ダーラム法によるスギ・ヒノキ花粉飛散数と、はなこさんによる花粉飛散数の推移 (H30年シーズン)

表1 ダーラム法とはなこさんの比較

	観測方法	メリット	デメリット
ダーラム法	<ul style="list-style-type: none"> スライドグラス上に落下した1日分の花粉を翌日染色し、顕微鏡で観察する データは1日当たりの個数で表し、単位は「個/cm²」 	<ul style="list-style-type: none"> スギ・ヒノキ花粉を別々に判別して計測できる 飛散開始日や飛散終了日を判定できる 	<ul style="list-style-type: none"> 当日の飛散状況が分からない(翌日に観察するため) 休日は連続捕集のため日毎の飛散数が不正確になる
はなこさん(光散乱法)	<ul style="list-style-type: none"> 大気を吸引し、含まれる粒子の大きさから花粉として計測する データは1時間当たりの個数で表し、単位は「個/m³」 	<ul style="list-style-type: none"> リアルタイムの測定データが提供される(1時間毎) 夜間や休日にも情報が更新される 	<ul style="list-style-type: none"> 雪や黄砂なども誤って測定することがある 花粉の種類を判別できない

策の一助とするため調査を続けるとともに、より良い情報提供の方法についても検討していきたい。

F. 利益相反

利益相反なし

G. 参考資料

1) はなこさん

<http://kafun.taiki.go.jp/index.aspx>

2) 環境省 花粉情報サイト

<http://www.env.go.jp/chemi/anzen/kafun/>